

健診で肝機能検査異常といわれたら

今回は日本肝臓学会専門医の道堯浩二郎医師に「脂肪肝」について伺いました。



▲道堯浩二郎 医師

知られていましたが、お酒を飲まない人の脂肪肝も10%~20%は肝硬変や肝がんに進展する可能性のあることがわかってきました。この脂肪肝は非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)と呼ばれ、放置できない病気として注目されています。特に糖尿病のある方の脂肪肝はNASHDの可能性が高いことがわかってきています。

上の人は慢性の肝臓病のことが多いことがわかってきました。そこで、2023年の肝臓学会で、ALTが30を超えている人はかかりつけ医を受診しましょう、という「奈良宣言」が採択されました。肝機能が悪くなる(ALTが30以上になる)原因としてウイルス肝炎や薬による肝障害などがありますが、最も頻度の高いのが脂肪肝です。ALTが30以上

の方は、精査する必要がありますか、また治療が必要か否かをはっきりさせるため、かかりつけ医を受診しましょう、というの

がこの奈良宣言です。また、肥満が気になる方も一度医療機関を受診されて脂肪肝がないか検査されることをおすすめします。肥満や脂肪肝が気になる方、糖尿病の方、健診で肝機能が悪いと言われた方は、ぜひ一度かかりつけ医や専門医にご相談ください。

今回は脂肪肝のお話です。肝臓に脂肪がたまると、脂肪肝は高頻度にみられ、健診受診者の3人に一人は脂肪肝です。特に肥満者の8割は脂肪肝であることがわかっています。小児の脂肪肝も増えています。脂肪肝の原因は大別すると、アルコールと、肥満や糖尿病などアルコール以外に分けられます。アルコール性の脂肪肝は飲酒を続けると肝硬変になるのは昔から

健診で調べる肝機能検査の項目にALTがあります。ALTの基準値は通常10~40IU/Lですが、40未満の基準値内であっても30以

社会福祉法人
恩賜財団
済生会今治第二病院

今治市北日吉町1丁目7番43号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/site/saiseikai-imabaridai2/>

☎0898-23-0100

